

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県高知県・高知市病院企業団 高知医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	42	対象	透I未訓方	救臨が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	75,965	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
548	-	20
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
44	8	620
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
455	-	455

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、県立中央病院と市立市民病院を統合し、総合的かつ高度な診療機能を有する新たな基幹病院として設立されており、高度急性期医療を県民に提供する役割を担っている。
また、自治体病院として、3次救急医療、周産期母子医療、がん医療やへき地医療など、政策医療あるいは不採算医療の提供も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①入院外来共に診療単価が増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る補助金が減少しており、また、物価上昇や買上げの影響で経費が増加したことにより経常収支は悪化した。
②診療単価が増加したことにより、前年度から改善している。
③病床制限が継続されており、前年度に引き続き低い利用率となっている。
④継続して在院日数の短縮に取り組んだことにより単価増となった。
⑤給与は前年度から増加しているが、それ以上に医療収益が増加しているため、比率は改善されている。
⑥材料費は前年度から増加しているが、それ以上に医療収益が増加しているため、比率は改善されている。
⑦黒字化により比率は改善されている。

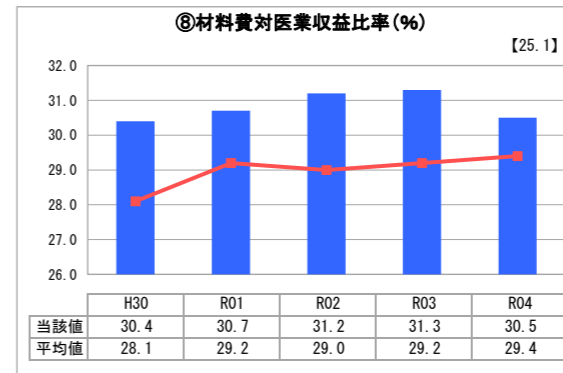
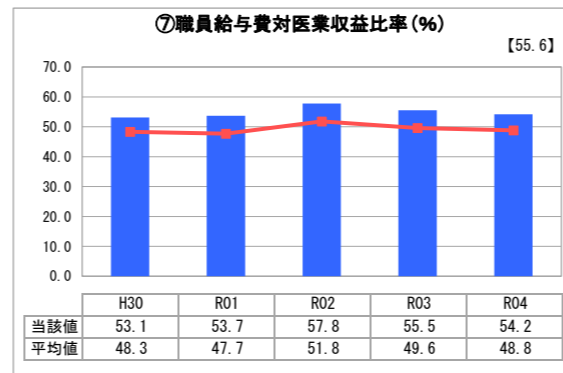
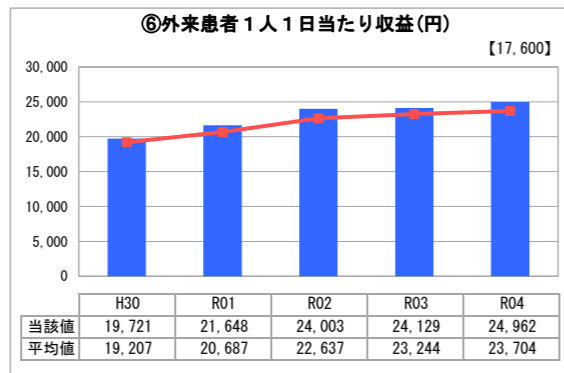
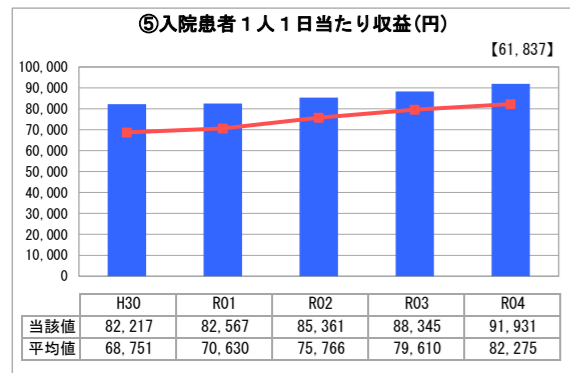
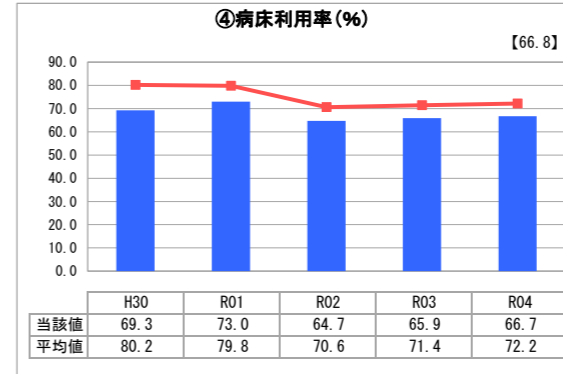
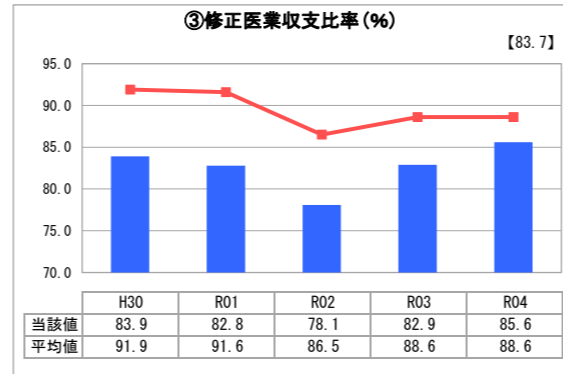
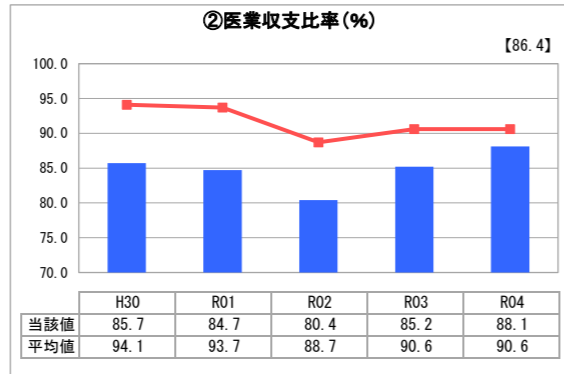
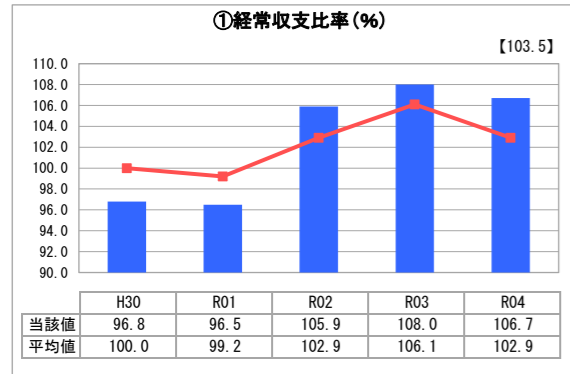
2. 老朽化の状況について

①開院から18年が経過し、施設の老朽化が進行している。経営状況を勘案しつつ、施設の長寿命化計画に沿った計画的な維持修繕に努める。
②器械備品についても徐々に老朽化が進んでいるため、計画的な更新に努める。

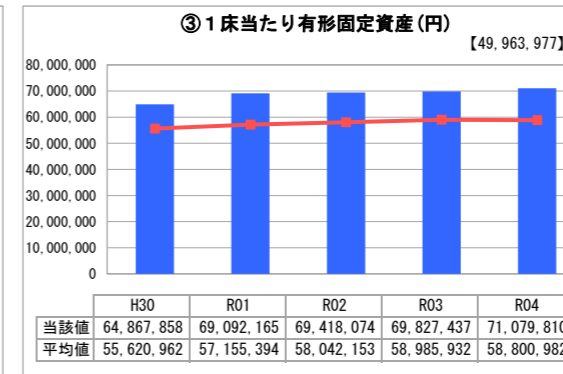
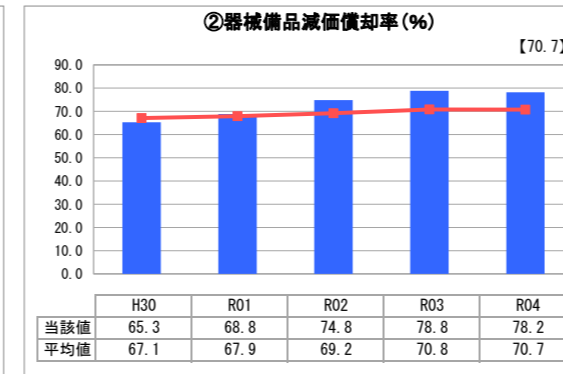
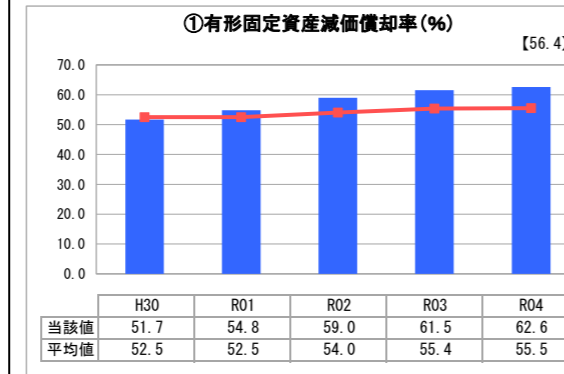
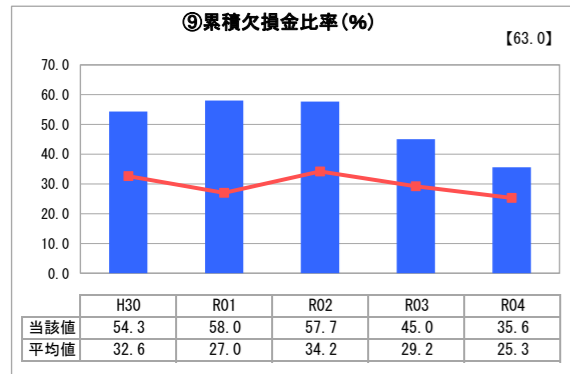
全体総括

物価高騰や新型コロナウイルス感染症に係る補助金額の減少等があったものの、患者数の回復、入院診療単価の増加等により経常収支は前年度に引き続き黒字となった。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。